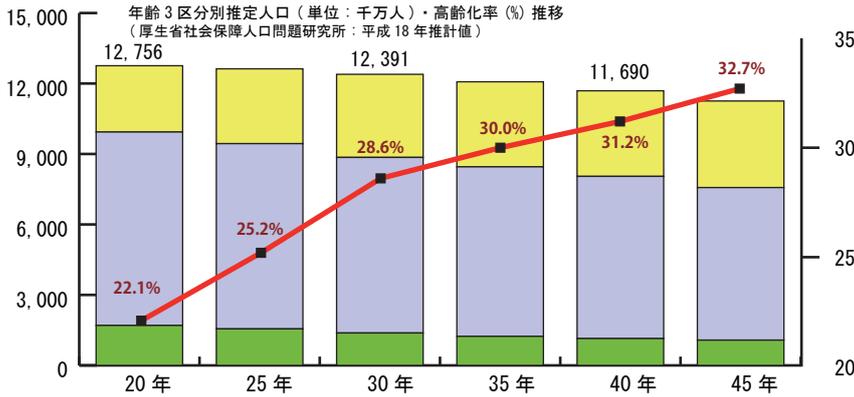


急速に進む高齢化社会。 支えあい元気に長生きする街づくりへ。

超高齢化が進むこれからの10年政治の知恵と力量が問われる。



グ ラフは、日本の人口・高齢化推移。4年誤には4人に1人が65歳以上、20年後には3人に1人が65歳以上となる。

少 子高齢化が進む日本では、高齢になっても希望する人は働ける環境の整備が必要だ。一方で、体調を崩したり、要介護となる人に対する地域での支援の仕組みも重要となる。

公明党は「ボランティアポイント制度」を提案



©NEW KOMEITO

- 元気な高齢者が活動し、実質的な介護保険料の割引に。
- 社会参加の場の提供と、自らの介護予防に。
- 介護給付費の抑制と、地域ぐるみの支援体制へ。

元 気な高齢者が介護支援や福祉活動に参加して、活動時間に応じてポイントを貯めて、商品や優待券、介護保険料の減免に使うことができる「ボランティアポイント制度」を行う自治体が広がっています。

制 度導入の目的や効果は、高齢者自身が活動することで、①閉じこもりがちな高齢者に社会参加の場を提供する、②介護施設などに行くことで、自身の健康を再認識し介護予防に役立つ、③実質的な介護保険料の割引とすることができる、④介護給付費の抑制につながる、などです。

稲 城市の例では、手帳にスタンプを押し最大5,000ポイントを付与。スタンプ数に応じて最大5,000円の交付金を支給している。

[ボランティアポイント制度の導入自治体]

2007年	東京都稲城市、千代田区
2008年	世田谷区、足立区、品川区、豊島区、八王子市、日野市、山形県天童市など
2009年	葛飾区、江戸川区、墨田区、新宿区、町田市、福井市、横浜市、大阪府吹田市、鹿児島県高島市
2010年	静岡県袋井市、千葉県印西市、栃木県日光市、小山市など